

平成18年度第4回高崎市介護保険運営協議会・会議録（抄）

【開催日時】 平成19年3月22日（木） 午後2時～

【開催場所】 高崎市役所 職員研修室（20階）

【出席委員】 計27名

会長	細井 雅生	委員	青木 鈴子	委員	青山 清子
委員	新井 通子	委員	井上 光弘	委員	岩井 今朝男
委員	岩田 寿	委員	内田 好子	委員	大美賀 亨
委員	大山 とみ江	委員	黒沢 秀吉	委員	駒井 和子
委員	斉藤 直躬	委員	須藤 ゆり子	委員	高田 容子
委員	永井 伊津夫	委員	中島 英男	委員	中島 英明
委員	平野 勝海	委員	福田 美代子	委員	松沢 斉
委員	松本 源治	委員	宮崎 孝明	委員	矢島 祥吉
委員	山崎 順彦	委員	湯浅 僖章	委員	吉沢 慎一

【欠席委員】 計6名

副会長	富田 昭子	委員	齋藤 美恵子	委員	佐藤 洋一
委員	中澤 清	委員	平田 清一	委員	柳澤 敏勝

【事務局職員出席者】

高齢・医療担当部長	萩原 素雄	長寿社会課長	嶋田 訓和
介護保険室長	小金沢 明彦		
長寿社会課担当係長	清水 琢磨、阿久澤 健、田村 とし江		
介護保険室担当係長	丸橋 正弘		
支所担当課長・係長	黒澤 孝次（新町支所福祉課長）ほか4名		
他事務局担当職員	5名		
他事務局担当職員			

【公開・非公開区分】 公開
傍聴者3名

【所管部課】 保健福祉部 長寿社会課

【議 事】 1) 平成18年度介護給付実績等について
2) 第3期計画の進行管理及び次期計画に係る検討体制について
3) その他
*議長=会長

議事1 平成18年度介護給付実績等について

議長 それでは平成18年度介護給付実績等についてですが、まず事務局から説明をお願い致します。

一 『平成18年度介護給付実績、要介護認定者数、介護予防事業実施状況』（資料1）を事務局より説明

議長 はい、ありがとうございました。平成18年度における要介護認定者数、介護給付の実績、介護予防事業の実施状況についての説明ですが、何か質問等ありますか。

委員 A 介護給付の状況を分析するのであれば、平成12年度からの実績の分析が必要なのではないか。先日、新聞報道されたが、群馬県で特養を700床増床するという計画があるようであるが、これや介護療養型医療施設の廃止については、どのように計画に反映させていくのか。

事務局 委員のおっしゃるとおり、給付費の分析についてはある程度長期的なスパンで行う必要もあると考えておりますので、運営協議会でのご意見を踏まえて検討していきたいと考えております。

また、群馬県の特養の増床計画については、私どもも新聞で報道された程度の情報しかなく、今のところ群馬県からの正式な話はありませんので、実際にどのようなことになるのかははっきりしたことはわかりません。介護療養型医療施設の廃止については、群馬県が今後策定することになります地域ケア体制整備構想の中で転換計画を定めることとなりますので、それを踏まえたくえ、委員の皆様の意見をいただきながら、次期計画の中にきちんと盛り込みたいと考えている。

委員 B いきいきサロンなどのお茶菓子代は、市から補助金が出ているのか。

委員 C 私もいきいきサロンをやっているが、うちの地区の場合は、地区社協から年間48,000円補助されている。

委員 C 私も地元でいきいきサロンを行っているが、非常に地域の高齢者には評判がよい。また、介護予防サポーターの制度も大変よいもので、いきいきサロンにもお手伝いをしていただいている。今後は、老老世帯と申しませうか、そういったことで閉じこもり予防が非常に重要なことであると思います。そういった中で、行政もよくやっていただいていると思います。

中島英明委員

委員 D 居宅サービスと施設サービスのそれぞれの伸び率は同様な具合であるか。居宅サービスが伸びているのか、施設サービスが伸びているのか。

事務局 居宅サービスにも多くの種類があり、単に総量だけではなかなか伸び率などの要因を確認することは難しいが、全体としてはどちらも伸びてきており、両者を比較すると居宅サービスのほうが伸び率が高いようである。

委員 A 居宅サービスには、グループホームなどの入居するサービスも含まれるわけであり、そういったものは除いた中で比較しなければならないのではないか。

事務局 委員のご指摘のとおり、居宅サービスの中のグループホームや特定施設入居者生活介護を提供する有料老人ホームなどは区分して分析することが適当であろうと考えますので、今後分析に当たっては十分に留意したいと思います。

委員 E 独居の人の場合の緊急時の対応はどうするのか。例えば、病院につれていってこれたりは誰がしてくれるのか。

事務局 民生委員さん方にもご協力をいただかなければなりません、行政としては地域包括支援センターで対応していきます。

委員 F でも、市は土曜日、日曜日はお休みですよね。そういったときの対応はどうなるのですか。

事務局 そのときの状況にもよりますが、休日でも宿日直はおりますので、連絡はつくような体制にはなっております。

委員 A いまのようなことに対応していくには、地域福祉の充実が必要であり、地域で支えあうシステムの構築が重要である。結局、自治意識の高揚といったものが必要なのである。

議長 確かに、土曜日、日曜日などのときの緊急対応のシステムを構築する必要がある。

委員 G 要介護認定の結果が出るのに時間がかかっているように感じるがどうか。

事務局 一番の理由は、主治医意見書の提出が遅いことである。また、対象者数も増えているので、認定審査会の合議体を増やすようにしたいと考えております。

議長 いろいろなご意見を頂戴しまして、ありがとうございます。ほかにこの件についてご意見のある方はいらっしゃいますか。無いようでしたら、次の議題に行きたいと思っております。

議事2 第3期計画の進行管理及び次期計画に係る検討体制について

議長 続きまして、第3期計画の進行管理及び次期計画に係る検討体制につきまして事務局から説明をお願いします。

一 『第3期計画の進行管理及び次期計画に係る検討体制について』（資料2）を事務局より説明

議長 ありがとうございます。委員の皆さん方からご意見、ご質問等あればお願いしたいのですが、まず、私からひとついいですか。このワーキンググループの位置づけはこういったもので、市の内部との連携といいましようか、つながり方といいましようか、その辺はどうなるのですか。

事務局 ワーキンググループの位置づけは、われわれ市職員と委員の皆様とで一緒になって協議をし、その結果については、この運営協議会に報告をしたいと考えております。また、市の職員については、長寿社会課、介護保険室の職員だけでなく、必要に応じて関係部署の職員の参加も検討したいと考えております。

議長 わかりました。それでは、委員さん方から何かございましたらお願いします。

委員 H 地域包括支援センター運営協議会と地域密着型サービス運営委員会との関係というか、位置づけはどういうものか。

事務局 地域密着型サービス運営委員会は、基本的には地域密着型サービス事業者の指定等について、ご意見をいただく場であり、直接的にこのワーキンググループとの関わりというのはあまり無いかと考えておりますが、必要に応じて連携はしていきたいと思っております。

一方、地域包括支援センター運営協議会につきましては、重なる部分もあるかと思っておりますので、十分に情報交換等も行いながら、連携をしていきたいと考えております。

委員 A 公聴会のように、外部から専門家やオブザーバーのような立場の人を呼んでいくのか。

事務局 今のところ具体的には検討してはおりませんが、必要があるようであればそういったことも検討したいと考えております。

議長 ありがとうございます。ほかに何かございませんか。

議事3 その他

議長 無いようでしたら、最後にその他として事務局から何かありますか。

事務局 今年度末をもって、現在の委員の皆様の任期は終了いたします。来年度からは、引き続きお願いする委員さんもいらっしゃいますが、また新たな委員の皆様に委嘱をさせていただきます。

つきましては、来年度の第1回目のこの介護保険運営協議会を4月13日の金曜日に予定したいと考えておりますが、引き続きお願いする予定となっていられる委員の皆様方のご都合はいかがでしょうか。特に、問題が無いようであれば、この予定で事務を進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

議長 わかりました。ほかに、委員の皆さんの方から何かございますか。無いようでしたら、本日の会議は以上をもちまして終了とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。